<table>
<tr><td>授業科目名：
発達障害教育指導法
（２）</td><td>教員の免許状取得のための
の
選択科目</td><td rowspan="2">単位数：
２単位</td><td>担当教員名：阿部　利彦</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>担当形態：単独</td></tr>
<tr><td>実務内容
（実務家教員の場合）</td><td colspan="3"></td></tr>
<tr><td>科　目</td><td colspan="3">特別支援教育に関する科目</td></tr>
<tr><td>施行規則に定める
科目区分又は事項等</td><td colspan="3">・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目
・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目</td></tr>
<tr><td colspan="4">「学位授与の方針」との関係
インクルージョン教育に基づいた社会実践を担う人材育成を目的としている。
星槎共生スピリットの「共生社会の創造に貢献する姿勢を身につける」ことを目指す科目である。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の到達目標及びテーマ
特別支援教育の手法を学び、課題を抱えた子どもに対する具体的な支援計画を立てることができる。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業の概要
　今日では、学校で子どもたちが直面する問題も多様化・複雑化してきており、柔軟な手立てや支援機関との連携が求められるようになっている。そこで、通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをサポートする方法について探求していく。そのために、印刷教材などでさらに知識を深め、スクーリングにおける討論や演習を通じて理解を深める。
　なお、本授業は教育的支援に関するものであるため、成人期の発達障害については扱わない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">授業計画
第１回：発達障害の特性
第２回：発達障害の理解
第３回：心理教育アセスメントについて
第４回：個別の指導計画と学習指導案の作成
第５回：学習上のつまずきと支援
第６回：行動上のつまずきと支援
第７回：運動面のつまずきと支援
第８回：社会性のつまずきと支援
第９回：クラスワイドのソーシャルスキル指導
第１０回：授業を通じてのソーシャルスキル指導
第１１回：通級や支援教室を活用した支援方法
第１２回：支援員との連携による支援方法
第１３回：保護者との面接及び家族内の関係調整
第１４回：クラス担任・学校へのコンサルテーション
第１５回：教育のユニバーサルデザインと合理的配慮
定期試験</td></tr>
</table>

スクーリングでの学修内容 発達障害のある子どものこまり感の疑似体験などを通じて理解を深めた後、事例を通じて通常学級と個別支援をどう組み合わせていくかを対話形式で検討する。 （主に、第１～２、５～８、１１～１４回の内容を含む。）
教科書 阿部利彦・岩澤一美（２０１９）『これだけは知っておきたい　発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援』金子書房
参考文献 （１）阿部 利彦（２００９）『クラスで気になる子の支援ズバッと解決ファイル』金子書房 （２）阿部 利彦（２０１２）『クラスで気になる子の支援ズバッと解決ファイル NEXT LEVEL』金子書房
学生に対する評価 レポート評価（２５％）、スクーリング評価（２５％）、科目修得試験（５０％）の割合で総合して評価する。